

ペチュニア属
特性調査マニュアル



(第5版)

令和3年3月15日 改正

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター

特性表

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1	QN (*) (+) G	草姿	Plant: growth habit	草姿	観 察 VG	1 2 3	立性 中間 開張性	upright upright to spreading spreading	TX642 サンサフヴィオミ	

●調査時期

植物体の生育状況を経過観察し、総合的に判断する（摘心後2.0～2.5ヶ月を目安とする）。

●調査方法

調査時期に側面及び上面から観察したとき、株の各側枝の花が2～3花ずつ咲きそろった状態（満開時）を観察適期とする。

茎の性状及び株の形状を生育初期から成長過程も含め観察し、観察適期に最終評価を行う。

なお、茎の伸長が早い品種では観察の適期を迎える前に、隣接株とぶつかり、茎が混み合っ草姿が乱れる場合がある。

観察の適期を過ぎると枝の重みで側枝の基部から裂けて草姿が乱れることがあるが、乱れた状態の株で判断しない。

茎の先端がやや上向きとなって、隣の株とぶつかったときに茎が持ち上がり、草丈がやや高くなるものは「3：開張性」としない（「花咲か シルバー」など）。

(上段の図：審査基準より)

1 立性
upright

((標)TX642)

2 中間
upright to spreading

3 開張性
spreading

((標)サンサフヴィオミ)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2	QN (* (+)	草丈	Plant: height	草丈	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	Sunsurf Depausa TX642 デボネア ブラックチェリー	

●調査時期

摘心から2~2.5ヶ月程度経過した、試験終了の頃に行う。

●調査方法

地際から植物体最高部までを測定する。

隣り合った株の枝と重なり、高くなった場所は避ける。



高さ
height



参考事項

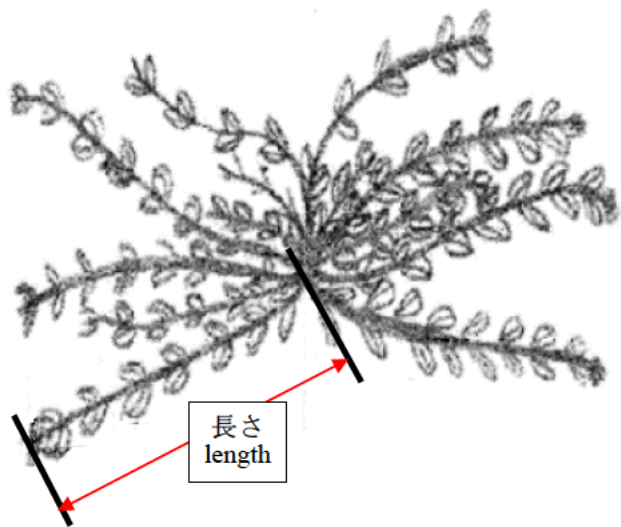
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3	QN (+)	茎の長さ	Shoot: length	茎の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	カミホン Q20SP デボネア ブラックチェリー サンサフヴィオミ	

●調査時期

摘心から2～2.5ヶ月程度経過した、試験終了の頃に行う。

●調査方法

最長茎の地際から茎先端部までを測定する。



(図：審査基準(2016)より)



参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	4	QN (* (+)	葉の長さ	Leaf: length	葉の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	カミホン DLL226 サンサフヴィオミ デボネア ブラックチェリー	

●調査時期

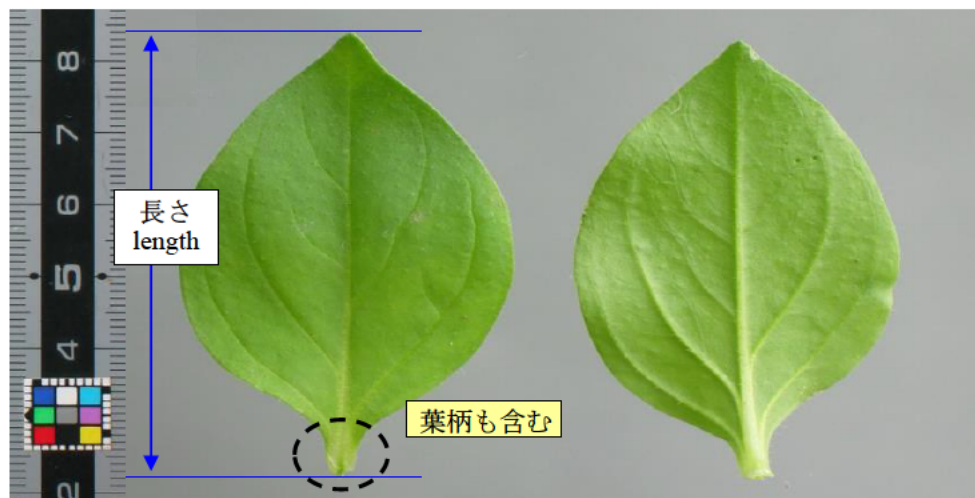
株がある程度生育して葉数が充実し、安定した時期に行う（摘心後2.0～2.5ヶ月を目安とする）。

●調査方法

一次側枝の中間部付近に着生する十分に展開した、典型的な葉を測定する。

葉柄を含めて測定する。

湾曲している場合は広げて測定する。



参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	5	QN (*)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 cm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	あずき デボネア ブラックチェリー ソフィスティカ アンティーク クシェード	

●調査時期

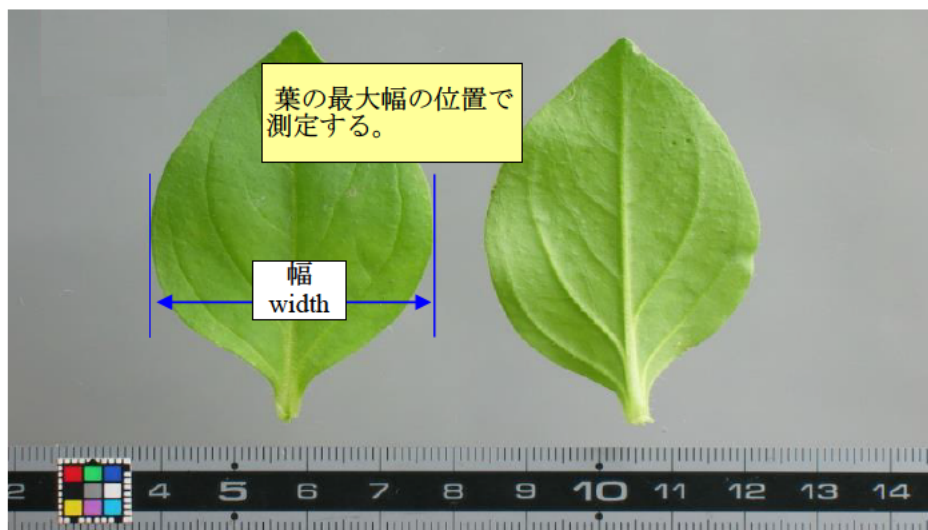
株がある程度生育して葉数が充実し、安定した時期に行う（摘心後2.0～2.5ヶ月を目安とする）。

●調査方法

一次側枝の中間部付近に着生する十分に展開した、典型的な葉を測定する。

湾曲している場合は広げて測定する。

葉の最大幅部を測定する。



参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	6	PQ (+)	葉の形	Leaf: shape	葉の形	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	卵形 楕円形 円形 倒卵形 菱形	ovate elliptic circular obovate rhombic		

●調査時期

株がある程度生育して葉数が充実し、安定した時期に行う（摘心後2.0～2.5ヶ月を目安とする）。

●調査方法

一次側枝の中間部付近に着生する十分に展開した、典型的な葉を観察により評価する。

湾曲している場合は広げて観察する。

※葉柄を除いた部分で判断する。

最大幅部の位置や、基部の膨らみ度合い等を目安に、審査基準の特性表の説明で示された図に最も近似した形に区分する。

左右が角張った、特徴的なもののみを「5：菱形」とし、それ以外は「2：楕円形」とする。



1
卵形
ovate



2
楕円形
elliptic



3
円形
circular



4
倒卵形
obovate



5
菱形
rhombic

(下段の図：審査基準より)

参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	7	PQ (+)	葉の先端の形	Leaf: shape of apex	葉の先端の形	観察 VG (a)	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded		

●調査時期

株がある程度生育して葉数が充実し、安定した時期に行う（摘心後2.0～2.5ヶ月を目安とする）。

●調査方法

一次側枝の中間部付近に着生する十分に展開した、典型的な葉の先端の形を観察により評価する。

葉の先端のみを見るのではなく、葉の上部全体（1/3）を観察する。

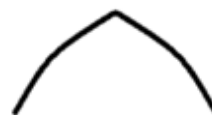
審査基準の特性表の説明で示された図を指標とし、先端の角度など参考図の最も近似した形に区分する。



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形
obtuse



4
円形
rounded

(下段の図：審査基準より)

参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	8	QL (*) (+) G	葉の斑の有無	Leaf: variegation	葉の斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

株がある程度生育して葉数が充実し、安定した時期に行う（摘心後2.0～2.5ヶ月を目安とする）。

●調査方法

一次側枝の中間部付近に着生する十分に展開した、典型的な葉を観察により評価する。



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	9	PQ	葉の主な色	Leaf: main color	葉の主な色	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4	淡黄 淡緑 緑 濃緑	light yellow light green medium green dark green	ソフィステイカ アンティークシェード TX642	

●調査時期

株がある程度生育して葉数が充実し、安定した時期に行う（摘心後2.0～2.5ヶ月を目安とする）。

●調査方法

一次側枝の中間部付近に着生する十分に展開した、典型的な葉を観察により評価する。

標準品種を指標に相対的に判断する。

主な色は、表面の脈を除いた、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

斑の色が主な色(最大面積)となった場合、備考欄に「斑」と記載する。

参考事項

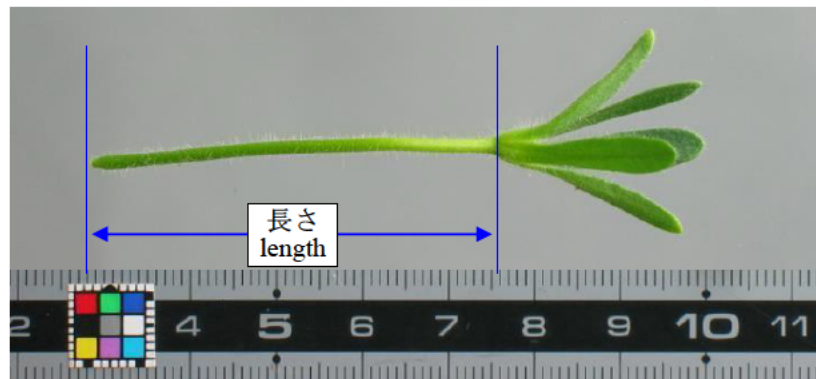
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	10	QN (+)	小花柄の長さ	Pedical: length	小花柄の長さ	測定 cm MS	1 極短 2 短 3 中 4 長 5 極長	very short short medium long very long	カミホン Q20SP Sunsurf Depausa 花咲か シルバー ソフィスティカ アンティーク クシェード		

●調査時期

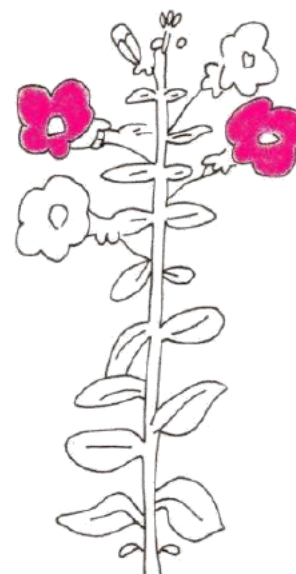
摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の小花柄を測定する。



(図：審査基準より)



花のサンプリングは
2花目か3花目

図：NCSS作成

参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	11	QN (+)	小花柄のアントシアニンの着色	Pedical: anthocyanin coloration	小花柄のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	TX642 サンサフヴィオミ DRAY68	

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

小花柄の末端（がく片に近い部位）1/3付近のアントシアニン着色の強弱(濃淡)を観察により評価する。

アントシアニン着色の面積の大小は加味しない。



小花柄の末端1/3

distal third of the pedicel

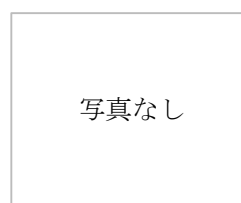
(図：審査基準より)



1
無又は極弱
absent or very



2
弱
weak



3
中
medium



4
強
strong



5
極強
very strong

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	12	QN (* (+)	がく片の長さ	Calyx lobe: length	がく片の長さ	測定 mm MS	1 極短 2 短 3 中 4 長 5 極長	very short short medium long very long	カミホン Q20SP TX642 デボネア ブラックチェリー DRAY68 ソフィスティカ アンティーク クシェード		

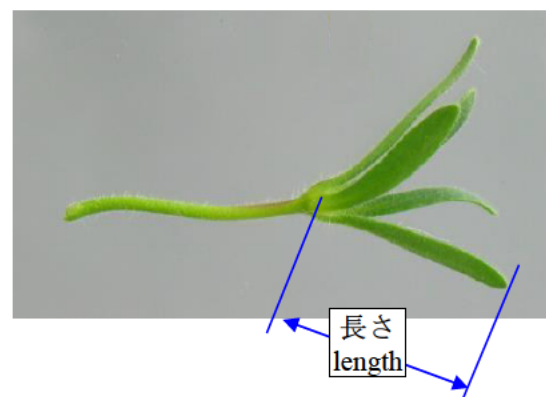
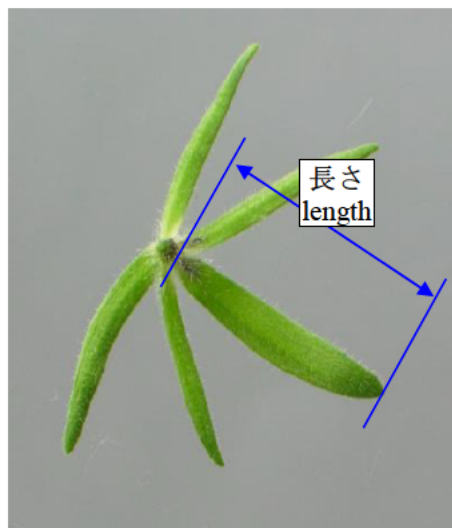
●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花のがくを測定する。

がく片のうち最も幅の広いがく片を測定する。



参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	13	QN (* (+)	がく片の幅	Calyx lobe: width	がく片の幅	測定 mm MS	1 極狭 2 狭 3 中 4 広 5 極広	very narrow narrow medium broad very broad	サンサフヴィオミ DRAY68 ソフィステイカ アンティークシェード		

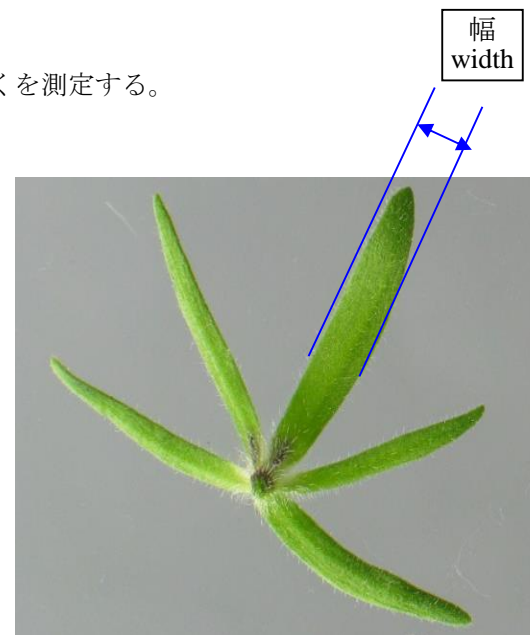
●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花のがくを測定する。

がく片のうち最も幅の広がく片を測定する。



参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	14	QL (*) (+) G	花型	Flower: type	一重、八重の別	観察 VG	1 2	一重 八重	single double		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

一重・八重の判断は、完全な一重のみを「一重」、内花弁が見られるものは「八重」とする。

八重の花は、花冠裂片が2列以上重なる。株全体の花を観察し、評価する。



1
一重
single



2
八重
double

(各左図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	15	QN (+)	花の粗密（八重 品種に限る。）	<u>Only varieties with Flower: type: double: Flower: density</u>	花の粗密（八重品種に限 る。）	観 察 VG	1 2 3	粗 中 密	sparse medium dense		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の粗密を観察により評価する。

形質14花型が「2 八重」の場合に評価する。



1
粗
sparse



2
中
medium



3
密
dense

(図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	16	QN (* (+) G	花の幅	Flower: width	花の最大幅	測定 cm MS (c)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	カミホン DLL226 花咲か シルバー DRAY68	

●調査時期

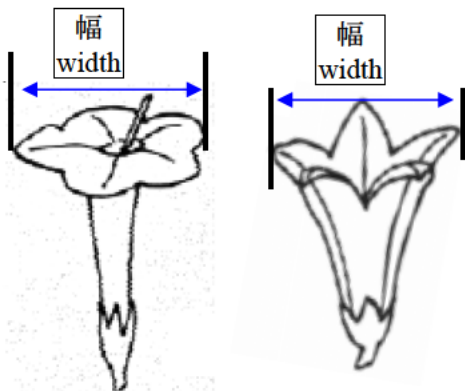
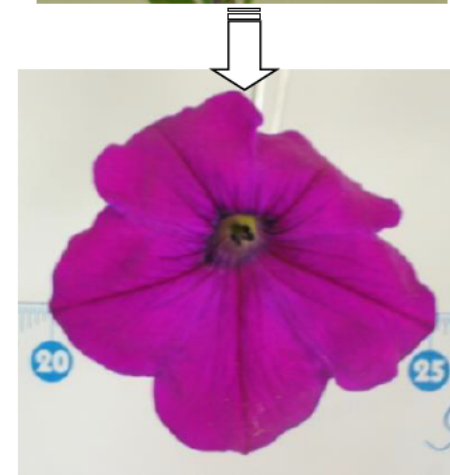
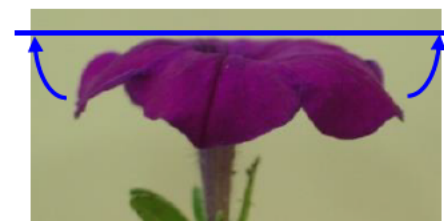
摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

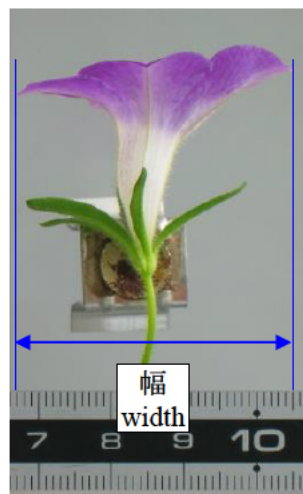
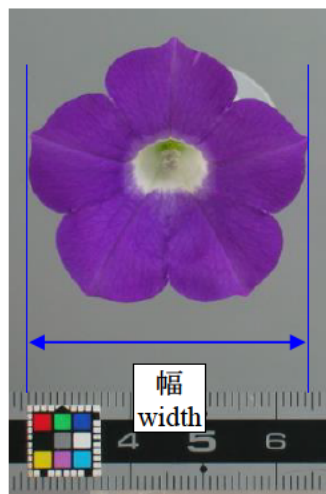
側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の最大幅を測定する。

花冠裂片が垂れたものや巻いたものは広げて測定する。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。



(図：審査基準 (2016) より)



参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	17	QN (*) (+)	花の切れ込み	Flower: lobing	花の切れ込みの強弱	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の切れ込みの強弱を観察により評価する。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

花卉裂片が重なっている場合、裂片間の隙間ではなく切れ込みの深さで判断する(重なりを広げて観察評価する)。

花の上部と下部では切れ込みの深さが違い、下部の切れ込みは深くなることもあるため、上部の切れ込みの深さを評価する。



切れ込み lobing



1
無又は極弱
absent or very weak



2
弱
weak



3
中
medium



4
強
strong

5
極強
very strong

(階級1から4の図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	18	QN (+)	花の波打ち	Flower: undulation	花の波打ちの強弱	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の波打の強弱（振幅の深さ）を観察により評価する。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。



1
無又は極弱
absent or very weak



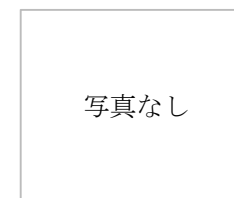
2
弱
weak



3
中
medium



4
強
strong



5
極強
very strong

(図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	19	QN (*) (+) G	花の脈	Flower: conspicuousness of veins	花の脈の明瞭度	観 察 VG (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の脈を観察により評価する。

色の対比と目立つ脈の数で決定する。

正面から自然状態で観察する。※花を切り開かない。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

花色と脈の色が近似し、一見して確認できない場合は「1：無又は極弱」とする。主脈のみ確認できる場合は「2かなり弱」とする。



1
無又は極弱
absent or very weak



3
弱
weak



5
中
medium



7
強
strong



9
極強
very strong

(図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	20	PQ (+)	花の脈の色	Flower: color of veins	花の脈の色	観 察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7 8	白 緑 黄 桃 赤 紫 青紫 黒	white greenish yellow pink red purple violet black		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

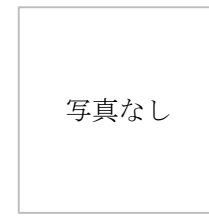
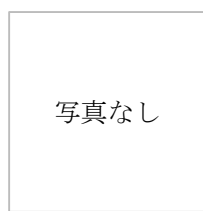
側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の脈の色を観察により評価する。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

形質19「花の脈」が「3弱」以上の場合に調査する。

*ただし、色の評価が可能な場合（主脈のみの時なども含め）は、野帳にRHSチャート番号を記録しておく。

RHSカラーチャート番号からの色名の特定については、UPOVのTGP14の色区分を参照する。



1
白
white

2
緑
green

3
黄
yellow

4
桃
pink

5
赤
red

6
紫
purple

7
青紫
violet

8
黒
black

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	21	PQ (* G	花の主な色	Flower: main color	花の主な色	観察 VG (b) (c)	RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)			

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

花冠裂片が十分に展開し、花が色あせる前の典型的な花冠裂片の内側を観察により評価する。

主な色は、表面の脈を除いた、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は濃い色を主な色とする。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

色の濃淡が連続的な場合は、濃い部分の色と淡い部分の色を測定し、報告書には、面積の多い色を主な色として記載する。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	22	PQ (*) (+) G	花の二次色（二次色のある品種に限る。）	Flower: secondary color	花の二次色（二次色のある品種に限る。）	観察 VG (b) (c)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

花冠裂片が十分に展開し、花が色あせる前の典型的な花冠裂片の内側を観察により評価する。

正面から自然状態で観察する。

※花を切り開かない。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

二次色は、表面の脈を除いて、2番目に大きい面積の色とする。

主な色と二次色の面積が同等の場合は、淡い色を二次色とする。

二次色と三次色の面積が同等の場合は、濃い色を二次色とする。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	23	PQ (* (+)	花の二次色の分布 (二次色のある品種に限る。)	Flower: distribution of secondary color	花の二次色の分布 (二次色のある品種に限る。)	観察 VG (b) (c)	1	喉部	at transition to corolla tube		
								2	中央脈に沿う	along mid-veins of corolla lobes		
								3	花冠裂片の癒合部に沿う	along the fused parts of the corolla lobes		
								4	縁部	at margin of corolla		
								5	不規則	irregular		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

二色又は多色の花を持つペチュニアの品種は、環境条件に対して強い反応を示すことがある。つぼみの発達時期の環境条件により、いくつかの花の二次色の面積は、同じ植物体の他の花の面積割合と異なる場合がある。このため、花の二次色の分布は、多数を占める花の分布を観察する。

花冠裂片が十分に展開し、花が色あせる前の典型的な花冠裂片の内側を観察により評価する。八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。周縁の二次色が途切れず、帯状につながっている場合のみ「4 縁部」と評価する。

(図：審査基準より)



1
喉部
at transition to corolla tube



2
中央脈に沿う
along mid-veins of corolla lobes



3
花冠裂片の癒合部に沿う
along the fused parts of the corolla lobes



4
縁部
at margin of corolla



5
不規則
irregular

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	24	QN (+)	花の二次色の面積 (二次色のある品種に限る。)	Flower: area of secondary color	花の二次色の面積 (二次色のある品種に限る。)	観察 VG (b) (c)	1 2 3	小 中 大	small medium large		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

二色又は多色の花を持つペチュニアの品種は、環境条件に対して強い反応を示すことがある。つぼみの発達時期の環境条件により、いくつかの花の二次色の面積は、同じ植物体の他の花の面積割合と異なる場合がある。このため、花の二次色の面積は、多数を占める花の面積を観察する。

花冠裂片が十分に展開し、花が色あせる前の典型的な花冠裂片の内側を観察により評価する。

正面から自然状態で観察する。八重品種は一番外側の花冠裂片を内花卉を除いた状態で調査する。

(図：審査基準より)

形質 23 「花の二次色の分布」が「1 喉部」の時
When located at transition to corolla tube



1 小 small
2 中 medium
3 大 large

「2 中央脈に沿う」の時
When located along mid-veins of corolla lobes



1 小 small
2 中 medium
3 大 large

「3 花冠裂片の癒合部に沿う」の時
When located along the fused parts of the corolla lobes



1 小 small
2 中 medium
3 大 large

「4 縁部」の時
When located at margin of corolla



1 小 small
2 中 medium
3 大 large

参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	25	QN (+)	二次色の面積割合が異なる花の数（二次色のある品種に限る。）	Plant: number of flowers with different size of area of secondary color	個体内に含まれる、二次色の面積割合が異なる花の数（二次色のある品種に限る。）	観察 VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few medium many		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

劣化していない十分に展開した花について、二次色の面積割合が異なる花の数を評価する。



1
無又は少
absent or few



3
多
many

(図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	26	PQ (+)	花の三次色（三 次色のある品種 に限る。）	Flower: tertiary color	花の三次色（三次色のある 品種に限る。）	観察 VG (c)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

花冠裂片が十分に展開し、花が色あせる前の典型的な花冠裂片の内側を観察により評価する。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

三次色は、脈を除いて、3番目に大きい面積の色とする。

二次色と三次色の面積が同等の場合は、淡い色を三次色とする。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	27	PQ (*) (+)	開花初期の花の 主な色	Young flower: main color	開花初期の花の主な色	観察 VG (b)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

展開直後（開花初期）の、典型的な花冠裂片内側の主な色をRHSカラーチャートにより評価する。

主な色は、表面の脈を除いた、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	28	PQ (+)	開花後期の花の 主な色	Aged flower: main color	開花後期の花の主な色	観察 VG (b)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

色あせ始めた花（開花後期）の、典型的な花冠裂片内側の主な色をRHSカラーチャートにより評価する。

主な色は、表面の脈を除いた、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	29	PQ (+)	花冠裂片の先端の形	Corolla lobe: shape of apex	花冠裂片の先端の形	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	鋭形 突形 円形 切形 凹形	acute cuspidate rounded truncate emarginate		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の花冠裂片の先端の形を観察により評価する。

基本的には自然状態で観察するが、「4切型」「5凹形」のように広げないと見にくい場合や、花冠裂片の先端部がかなり垂れたものや巻いている場合はかるく広げて観察する。

突形は、突起を除いた輪郭が「3円形」、「4切形」、「5凹形」と評価できる場合でも、先端に突起が確認できる場合には「2突形」と評価する。

先端の角度が大きく、突起が確認できない場合は、参考図の最も近似した形に区分する。花冠裂片の中で多い状態のものを評価する。



(突起有)



(突起無)



1
鋭形
acute



2
突形
cuspidate



3
円形
rounded



4
切形
truncate



5
凹形
emarginate

(下図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	30	QN (+)	花筒の幅（一重 品種に限る。）	<u>Only varieties with Flower: type: single: Corolla tube: width</u>	花筒の幅（一重品種に限 る。）	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	カミホン Q20SP あずき DRAY68	

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の花筒の幅を測定する。

形質14花型が「1 一重」の場合に測定する。

花筒の縦横にこだわらず最大幅部を測定する。



1
極狭
very narrow



3
中
medium



5
極広
very broad

(図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	31	PQ (+)	花筒の内面の主 な色	Corolla tube: main color of inner side	花筒の内面の主な色	観察 VG (b)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の花筒の内面の主な色を観察により評価する。

主な色は、花筒の中央部付近を観察する。

主な色は、脈を除いた地色を評価するが、内面全体が脈と区別できない程度に一樣に着色している場合は当該部位の色を評価する。

八重品種は一番外側の花筒の内面を調査する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	32	32	QN (+)	花筒の内面の脈	Corolla tube: conspicuousness of veins on inner side	花筒の内面の脈の明瞭度	観 察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

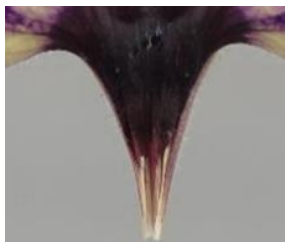
●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の花筒の内面の脈の明瞭度を観察により評価する。

花筒の内面の脈の明瞭度は、色の対比と目立つ脈の数で決定する。従って、全面が一樣に着色し脈が判然としない場合は色の濃淡に関わらず1:無又は極弱と評価する。ただし、部分的にでも脈自体の色が確認できる場合は、当該部分を含め評価する。八重品種は一番外側の花筒の内面を調査する。



1
無又は極弱
absent or very weak



3
弱
weak



5
中
medium



7
強
strong

(下段の図：審査基準より)

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	33	PQ (*) (+)	花筒の外面の主な色	Corolla tube: main color of outer side	花筒の外面の主な色	観 察 VG (b)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花の花筒の外面の主な色を観察により評価する。

主な色は、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。



花筒の外面の主な色
corolla tube: main color of outer side

(図：審査基準より)

参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34	34	PQ (*)	やくの花粉の色 (一重品種に限る。)	Only varieties with Flower: type: single: Anther: color of pollen	やくの花粉の色 (一重品種に限る。)	観察 VG	1 2 3 4 5	白 黄 桃 淡青 青紫	whitish yellow pink light blue blueish violet		

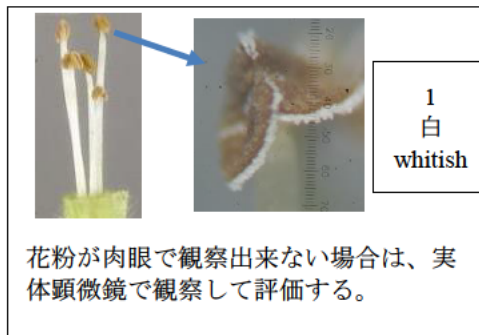
●調査時期

摘心後1.0ヶ月経過後から花数がある程度増えた時期に調査を行う。

●調査方法

側枝の先端から2花目か3花目の十分に展開し且つ色があせていない、典型的な花のやくの花粉の色を観察により評価する。

形質14花型が「1 一重」の場合に観察する。



参考事項